

## 古野電気株式会社 入社式 社長訓辞

2024年4月1日



代表取締役社長執行役員 古野 幸男

新入社員の皆さん 入社おめでとうございます。社長の古野です。  
本日、こうして新しい仲間を迎えることができたことを大変嬉しく思います。  
会社を代表して、心より歓迎の意を表し、お祝い申し上げます。

さて、当社は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、漁業の科学化、近代化を推し進めてまいりました。魚群探知機にとどまらず、無線機、レーダー、GPSなど船に搭載する各種電子機器を開発し、漁船のみならずプレジャーボート、商船など新しい市場を切り拓く一方、果敢に海外市場に乗り出し、船用電子機器分野では世界トップクラスのグローバル企業としての地位を築きあげました。さらには、船用分野で培った技術を医療、情報通信分野へと水平展開し、今では【安全安心・快適、人と環境に優しい社会・航海の実現】を事業ビジョンに掲げ、幅広い分野で事業を展開しています。

当社は創業当初から社会やお客様の要請に応えるべく、世の中にない革新的な技術や製品を生み出し続けることで社会に貢献してきました。その努力の甲斐もあり、直近の2024年2月期決算では、長年の念願であった売上高1千億円を達成の見込みとなりました。一方で、昨今の産業界では、通常の事業運営に加えて、社会からの要請として「脱炭素」、「SDGs」、「働き方改革」、「DX」等、様々な課題解決が求められています。

このような状況の中、当社では2030年までに目指す姿として経営ビジョン「FURUNO GLOBAL VISION “NAVI NEXT2030”」(ナビ ネクスト ニイマルサンマル)を策定し、その指針に基づき事業を展開するとともに、風土改革を推し進めています。

ビジョンは「変える」、「つなぐ」、「変わる」という3つのフェーズに分かれています。  
今年2024年は第2フェーズ「つなぐ」の2年目であり、ゴールまでの中間点に差し掛かります。

一言でいうと、「更なる飛躍に向けての投資のフェーズ」です。このビジョンをグループ全体で共有し、さらなる高みを目指し、皆さんと共に成長していきたいと思えます。

ここで、皆さんに、仕事に対する心構えとして、大事にしてもらいたいことを三点お話しします。

まず一点目は、「仕事に対する真摯な姿勢」です。

常に目の前の仕事にベストを尽くす、さらにもう一步踏み込むことを意識し、その姿勢を継続することを心掛けてください。その積み重ねが、将来、大きな仕事を成し遂げる基礎になります。

最初うまくいかないことも多々あると思いますが、何事にも前向きに取り組んでください。たとえ失敗しても、努力する過程で、得るものがあります。上司をはじめ、周りの人たちは、仕事の結果や成果だけでなく、その取り組み姿勢を見えています。

二点目は、「社内外の関係者と積極的にコミュニケーションをとる」ということです。

今や多様性(ダイバーシティ)の時代です。当社においても、幅広い年代で国籍や性別にかかわらず、様々な価値観を持った人たちが協力しながら働いています。日頃から関係者とコミュニケーションをとることにより良好な人間関係が構築され、さらには信頼感の醸成へとつながります。

相手の考え方を理解し、常に当事者意識を持って積極的に対話することが重要です。日頃から会話が一方通行にならないよう意識し、特に言いづらいことほどメールなどに頼らず対面で話をするよう心掛けてください。

最後三点目は「何事にも好奇心を持ち、様々な変化に対して果敢に挑戦(チャレンジ)する」ということです。身近なところで言うと、自分の担当から少し離れたところや、隣の人、あるいは隣の職場でやっている仕事に興味を持ち続けてほしいと思えます。そうすることにより、視野が広がり能力が高まります。

一方で、私たちを取り巻く環境は、目まぐるしく変化していきます。当社が今後も持続的に発展していくためには、変化に対し積極果敢にチャレンジしていくことが大切です。現状維持は後退であり、挑戦しないことこそリスクです。挑戦しなければ失敗することはありませんが、さらに上のステージにたどり着くことはできません。皆さんには、従来の枠組みにとらわれることなく、時代の変化を先取りする柔軟な発想やアイデア、スピード感のある行動を期待しています。

古野電気は皆さんの無限の可能性を最大限に引き出す場を提供します。

一日も早く会社の戦力となれるよう、何事にも情熱と使命感を持って取り組み、私たちともに新しい時代を創り上げていきましょう。皆さんの成長と、大いなる活躍を祈念して、私の歓迎の挨拶といたします。

以上